82　鹿児島県　鹿児島市

特定非営利活動法人 鹿児島県有機農業協会

「畑の学校」

苗の植え付け作業

生き物調査

フェスタへの参加、広報活動

取組概要

●鹿児島県有機農業協会は、有機JAS認定に関する業務を行う登録認定機関であり、有機農業の推進はもとより、食の安全、環境の保全等のため、1999年に設立（会員数436名）。

●市内在住の家族を対象に、「畑」を「学校」として開校。有機農業を楽しみながら、土作り、種まき・苗植え等の野菜作りや生き物講座、料理教室等を実施。

●オーガニックフェスタへ参加しパネル展示や、HP・フェイスブック等で発信。

活動成果

●有機農業を体験できる場を提供することによって、参加者の食と農に対する理解が深まっている。

●初めて野菜を栽培する家族も多く、子どもの積極性の醸成や、参加者間の交流や協力体制ができて来ている。

● HPやフェイスブックにおける活動紹介やフェスタの活動報告により、広く住民に周知でき、都市農業に関する賛同意見等が多く寄せられている。

特定非営利活動法人　鹿児島県有機農業協会
鹿児島県鹿児島市西田2-11-8明日ビル2階　Tel :099-258-3374　Fax :099-258-2204

83　鹿児島県　阿久根市

折多（おりた）校区の自然を守る会

支えあう　みんなの気持ちが　折多の力

小学校と連携し、稲刈り体験

農地・水路の保全活動

震災復興願い田植え

成長記録 福島へ定期便

阿久根・折多小「東北の友達、元気出して」

福島被災地への支援（餅米栽培・発送）

取組概要

●農業者・自治会・土地改良区・JA・折多小学校等で構成し、農地・水路・農道等の保全活動と、小学校の農業体験を主な目的として、平成19年に設立。

●農地・水路の法面等の草刈り、水路の泥上げ、路面の補修や清掃活動を、農業者・自治会等で定期的に実施。

●折多小学校・PTAと連携し児童・保護者との農業体験や、障害者福祉施設等と一緒になっての蕎麦づくりを実践。さらに福島の被災地と継続的に交流。

活動成果

●自治会を始め小学校等と一緒に清掃活動や美化活動に取り組んだことにより、地域が一体となった活動となった。

● 農業体験により農業の大切さを実感するとともに、農村の景観や環境を守るための地域ボランティアに向けた意識向上が図られた。

●子どもたちの提案で、被災地の小学校に毎年餅米を寄贈するなど、災害に対する心構えや地域防災意識も高まっている。

折多校区の自然を守る会
鹿児島県阿久根市多田2121番地1　　Tel :0996-72-2818　　Fax :　同左

84　鹿児島県　薩摩川内市

さつませんだいし
薩摩川内市グリーン･ツーリズム推進協議会

地域資源を活用した3力アップへの取り組み
～「実」力･「味」力･「me」力アップ ～

教育旅行の受入

食の研修会

民泊受入マニュアル

取組概要

●本協議会は修学旅行生を対象に農家民泊の受入を行うために組織化。一般旅行者やインバウンドの受入も視野に農家民泊資格取得の増加や新たな体験プログラムを開発。

●農家の現状を分析するとともに、民泊受入マニュアルを作成、受入スキルの向上とホームページで活動を発信。

●郷土料理や地元産品を活用するため、オリジナルレシピを開発し料理実習会を開催。

活動成果

●本協議会の受入状況の分析と体験メニューの精査を行い、受入マニュアル作成により、安全安心な民泊受入が実践されている。

●ホームページを活用、多言語化、活動の動画配信などにより、海外からの教育旅行の受入も可能となった。

●オリジナルレシピを受入の際に提供し、好評を得ている。新規会員の増加につながっている。

薩摩川内市グリーン･ツーリズム推進協議会（薩摩川内市　観光･シティセールス課）
鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号　　Tel :0996-23-5111　　Fax :0996-25-1704

85　鹿児島県　霧島市

佳例川地区自治公民館

（かれいがわ）

百年の眠りから覚めた幻のサツマ芋「蔓無源氏（つるなしげんじ）」

展示会及び商談会の出展様子

ブランド焼酎「蔓無源氏」

復活した「お田植え祭り」

取組概要

- 平成7年、地区の有志によって前身の「佳例川を語る会」が発足。お田植え祭をはじめ、希少芋の「蔓無源氏」を復活。それを原料として、焼酎「佳例川源流米」を当地区自治公民館が販売。
- 明治・大正時代に栽培されていた芋を3年かけて復活。地元酒造メーカーと連携したプライベートブランド焼酎「蔓無源氏」を自前の直売所で販売。
- 菱田川の源流水による「佳例川源流米」を全面に、交流イベントが盛況。

活動成果

- 平成27年のイタリアミラノ博に「佳例川源流米」を展示するとともに、希少芋「蔓無源氏」の生産拡大により荒廃農地も減少している。
- 直売所「かれがあの焼酎屋」は地区の情報発信の拠点施設となっており、地域住民が一体となった情報発信・PRにつながっている。
- 地元企業・鹿児島大学と連携した交流イベント（お田植え祭、新米ウオーキング等）に地域内外から大勢訪れている。

佳例川地区自治公民館
鹿児島県霧島市福山町佳例川1541　　Tel :090-2043-8368

86　鹿児島県　いちき串木野市

萩元前団地環境保全会

はぎもとまえだんち

「農」を守る語らいの輪

「秋あげ」でお餅のおもてなし

親子による田植え風景

復活した棒踊り

取組概要

●平成18年中山間地域等直接支払を機に活動をスタート。平成26年地元の小学校等と連携して本保全会を設立。

●農地・水路の法面等の草刈りのほか、地域全体の活動を目指し、休耕田を学校田として活用。親子での農業体験や給食等で食の大切さ、源氏ホタルの保全などを体感させている。

●稲刈後の「田の神子供相撲」や「秋上げ（あっきゃげ）」のお餅イベント・伝統芸能などが盛況。

活動成果

●伝統的な「農」を守りながら、4つの宝（子ども、農家の知恵経験、郷土芸能、自然）のネットワークの構築により、地域コミュニテイの形成につながっている。

●農業体験や給食への提供等により、住民の農業に対する理解を得るとともに、ふるさと納税品となった「黎明米」が人気を博している。

● 秋上げの開催を機に、伝統芸能「棒踊り、相撲取節」などが復活し、子供から高齢者まで活気づいている。

萩元前団地環境保全会（いちき串木野市役所　農政課）
鹿児島県いちき串木野市昭和通133-1　Tel :0996-33-5636　Fax :　0996-32-3124

87 鹿児島県 南さつま市

「H28九州農政局むらの宝」に選定

特定非営利活動法人 エコ・リンク・アソシエーション

アートプロジェクトと農家民泊事業ならおまかせ

農家民泊:昼食の様子

かぼちゃの後片付け

花渡川アートプロジェクト

取組概要

●平成13年、アートプロジェクトの活動に加え、中高生の修学旅行を対象に農家民泊事業をかごしまグリーン・ツーリズム協議会(関係19市町で構成)と連携。

●農業や自然環境のすばらしさを知って心に残る旅とするため、受入先では女性や高齢者の参画、地産地消を柱において推進している。

●アートプロジェクトでは、テーマ「水」を中心に展覧会等を行い、世界に向けて情報発信。

活動成果

●農家民泊事業を収益事業として取り組み、現在県内約1000軒の農家で受入体制が整っている。

●首都圏の中・高校生の修学旅行を主な対象とした受入を行っており、受入者も年間1万5千人を超えている。

●相乗効果で、地元住民も製作に参加した「万の瀬川、花渡川、木口屋、屋久島」アートプロジェクトなどが実現し、高い評価を受けている。

特定非営利活動法人 エコ・リンク・アソシエーション
鹿児島県南さつま市加世田本町53-6 Tel :0993-53-7270 Fax :0993-76-0022

88　鹿児島県　南九州市

たべた
田部田をまもり隊

田んぼアート “芸術は、大変だー”

60aに田んぼアート（2012）

田植え風景

田んぼアート（2015）

取組概要

●平成19年、九つの自治会が地区内の関係団体と連携して設立。自治会ごとに年3回の農道清掃や水利組合の草刈り・泥上げ、景観作物を作付。

●平成24年から、農事組合法人が中心となって、田んぼアートを実施。60aの水田をキャンパスに子供から大人まで参加し植え付け。

●見学できるように、高台に足場やぐらを設置。10月中下旬には子供たちの収穫体験も実施。

活動成果

●「農事組合法人たべた」を中心に、地元住民、幼稚園、子供会の協力で2日間にわたって植え付け。年々参加・協力が増えている。

●毎年、田んぼアートの絵柄が違うので、それぞれの役割分担、協力が不可欠であり、地区の一体感が醸成されている。

● 平成28年には、田んぼアート全国サミットを開催するに至っています。

田部田をまもり隊
鹿児島県南九州市川辺町田部田3034-1　　Tel :0993-56-4653

89　鹿児島県　さつま町

なかつがわく
中津川区むらづくり委員会

まだまだ、道半ば・・・・。伝統を引き継ぐ“中津川の底力！”

大祭の様子

士気を鼓舞する宴の踊り：兵児踊り

日曜朝市と、焼酎「金吾さあ」

取組概要

●5つの公民会から成る中津川区むらづくり委員会は平成7年に設立。農作業受託の話し合いの中、伝統芸能の継承や芋焼酎を目標にむらづくりに取り組む。

●「金吾さあ」の名で親しまれた島津歳久の「金吾様踊り」を400以上にわたり継承し、集落ごとの多彩な踊りが奉納。伝統の大念仏踊りの「地割舞い」等も復活。

●遊休農地を活用しサツマ芋を栽培し地域独自の焼酎「金吾さあ」製造販売。「なかっこ日曜朝市」も好評。

活動成果

●大石神社秋季大祭で奉納される「金吾様踊り」の取り組みにより、地区が一つにまとまるとともに、内外から訪れる多くの観光客で賑わっている。

●焼酎「金吾さあ」も、年々製造量が増加し、平成26年には1000本を超えている。

●「なかっこ日曜朝市」も地元に定着しており、販売高も年々増加しており、また消費者との交流の場や、高齢者のサロンとしての場にもなっている。

中津川区むらづくり委員会（さつま町役場内）
鹿児島県薩摩郡さつま町宮之城屋地1565-2　Tel :0996-53-1111　Fax :0996-52-3514

90　鹿児島県　屋久島町

やくしま　みやのうら

株式会社　屋久島宮之浦加工グループ

世界自然遺産の島のこだわりを食卓へ

イベントでの出展

加工作業の様子

パッケージ販売「森のごちそう」

取組概要

●昭和53年果樹同好会婦人部から、昭和58年宮之浦生活改善グループになり自家用ミカンジュース等に取り組む。平成7年缶詰等の営業許可を取得。平成26年に法人化。

●地元特産のさば節を使っためんつゆや、ポンカン・タンカンのジュース等の加工に取り組むとともに、屋久島の軟水を使ったジャム等を製造。

●タンカンのジュース・ドレッシング・みそは学校給食に提供。島内外の中・高校生を対象に加工体験など食育も推進。

活動成果

●「屋久島にこだわった手作りの味を届けたい」の商品作りが高く評価されており、18種類の商品を開発。売上も1300万円程度まで伸びている。

●島内約20店舗、島外約10店舗のデパート等で販売。平成28年にはJA鹿児島のギフト商品として取引されている。

● 屋久島の農村女性起業として初めて営業許可を取得し、法人化したことが、他の女性加工グループの起業に波及している。

株式会社　屋久島宮之浦加工グループ
鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦2204-4　　Tel :0997-42-0549

91　鹿児島県　屋久島町

有限会社　キャノッピ屋久島

縄文杉だけが魅力か？里のすごさも見てくれ

キャノピーウオーク：地上高目線10m

樹上空中回廊の入口：太平洋を望む

インバウンドの強化

取組概要

●屋久島の森や縄文杉で観光客が訪れるが、豊富にある麓の照葉樹林を鳥目線で眺めてもらうための取組を開始。

●2009年、根を踏まないので環境に優しい空中回廊150m区間「梢回廊キャノッピ」を設置。以後、樹木を楽しむ三層の空中回廊300mを設置し体験を開始し、体験者は1万人を超える。

●さらに、台湾を主な対象に、現地旅行業者へのコンセプトの説明を行うなど、インバウンド誘致にも取り組む。

活動成果

●屋久島の里にも麓にも魅力的な自然が沢山あり、これを楽しんでもらう回廊が理解されてきている。

●回廊への取組が、山岳部への一極集中の観光が緩和され、森林環境の保全につながっている。

●インバウンドの誘致において、ワーキングホリデー制度を活用したサポートスタッフが機能。さらに子供の冒険心や鳥瞰的目線を育て、教育的役割も視野に入れている。

有限会社　キャノッピ屋久島
鹿児島県熊毛郡屋久島町原677-44　　Tel :0997-49-3232　　Fax：　同左

92 鹿児島県 喜界町

喜界町（きかいちょう）生活研究グループ連絡協議会・合同会社 喜界島（きかいじま） 結（ゆ）い

キラリと輝くいい島の食の継承としま興し

生産量日本一の白ごまの加工品

喜界島産トマトの加工風景

小学校で食の伝承講座

取組概要

●町内の6つの女性グループ（構成員数48名）で、食文化の伝承や交流活動等の推進のため、本連絡協議会を昭和52年に設立。また、商品開発や加工・販売を行う結いグループ「喜界」を平成15年に設立、平成27年に「合同会社喜界島結い」として法人化し、両者が連携。

●協議会は、町内小学校で「食の伝承講座」の開催や農業体験で食育を推進。

●結いは、喜界島農産物を使った各種加工品（島ごまドレッシングほか）を販売、6次化や交流にも力を入れている。

活動成果

●連絡協議会の活動により、食の伝承はもとより、地場産物を活用した料理作り等が浸透してきている。

●結いは、地場産物を使った加工品の開発、販売により、経済活動としての自立、雇用の促進に大きな成果をあげている。

●両者の連携した取組により、6月の「しま興し祭り」での出展やPR。さらには首都圏の百貨店への出展、販売などを通じ、喜界島の魅力を発信している。

喜界町生活研究グループ連絡協議会・合同会社 喜界島 結い
鹿児島県大島郡喜界町湾1298番地 Tel :0997-65-0958 Fax : 同左